

# IR(赤外線)カットフィルム

## 取付要領書

### 品番

IR (赤外線) カットフィルム 1 台分 (スモーク)	08230-53060
IR (赤外線) カットフィルム 1 台分 (ダークスモーク)	08230-53070

### 構成部品

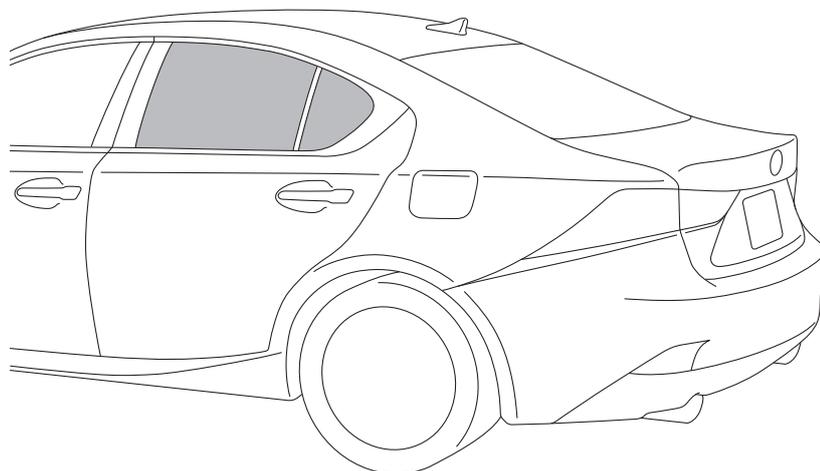
No.	品名	補給品番	個数	
1	リヤドア ウインドウ フィルム (スモーク)	RH	08230-53061	1
		LH	08230-53062	1
2	リヤドア ウインドウ フィルム (ダークスモーク)	RH	08230-53071	1
		LH	08230-53072	1

※イラスト内の ○ は識別位置、[ ] は識別形状を示しています。

## 取り付けに必要な工具等

一般工具、スキージー（樹脂製）、スプレー容器、中性洗剤（推奨）、水道水、スケール、マスカー、マスキングテープ、保護テープ、クリップリムーバー、柔らかい布、布（ナイロン系）、ボードまたは机

## 取付概要



### 取り

本取付要領書内には「（なし）注意：車両損傷」の注意文しか出てきませんので、変更をお願いいたします。それに伴い、作成要領に従って凡例文の修正願います。

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- ⚠注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を破損する等の恐れがあることを記載しています
- 👉アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪止めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。
- (3) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (4) バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。

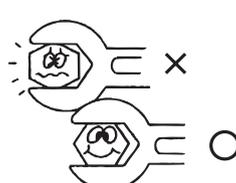
### 取り付ける前に

- バッテリーの(-)側ケーブルをはずす



### 部品の取り付けは

- 寸法に合った工具を使う
- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



### 作業時は

ゴミ・ホコリの侵入防止の為に

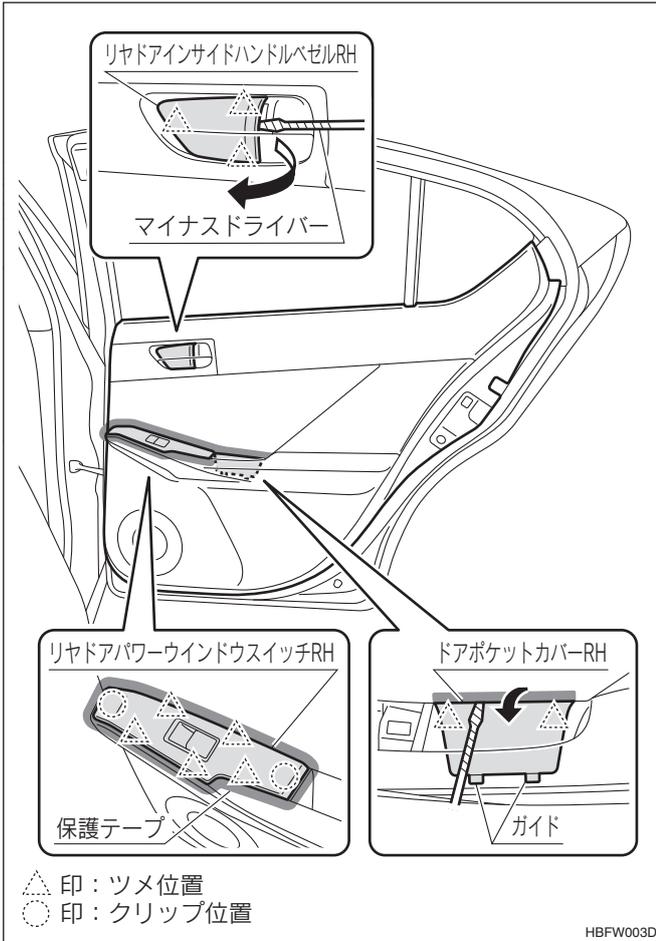
- ガラス両面の汚れを清掃する
- フィルムに施工液をたっぷりかける
- 風等の無い場所で作業する
- 作業場、作業台を掃除してから作業する

### 取り付け完了後は

- 車両部品は確実に復元



## 車両部品の脱着要領



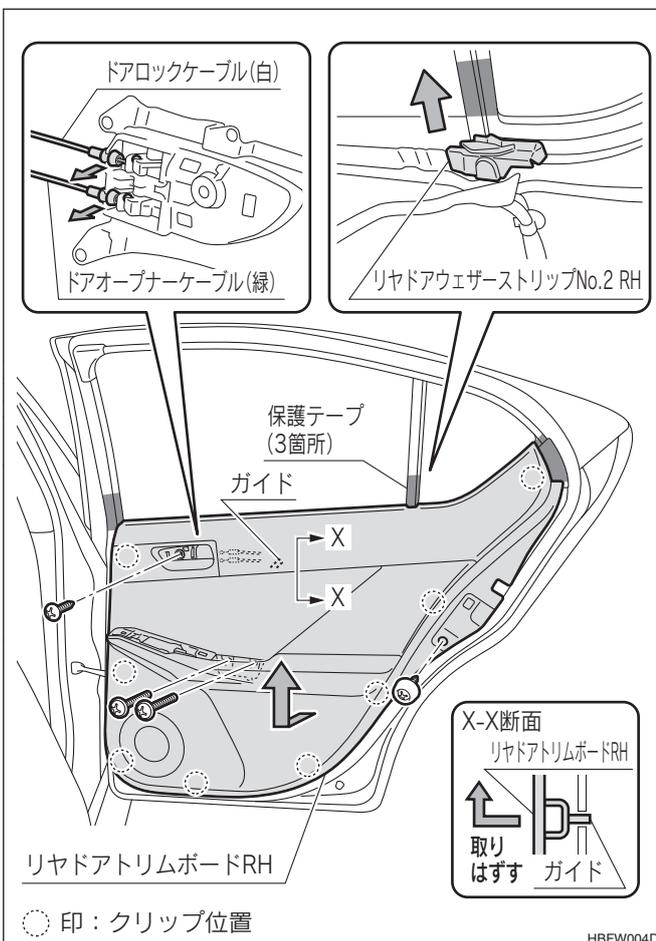
### 取り付け前の準備

1. リヤドアガラス、各 RH・LH の車両外側を清掃する。
2. リヤドアガラスを完全に閉めた状態から、約 20mm 下げる。(RH、LH 共)
3. バッテリーの (-) 側ケーブルをはずす。

### リヤドアトリムボードの取りはずし

(図は RH 側を示す。LH 側も同様に作業してください。)

1. 保護テープを巻いたマイナスドライバーを使用して、ツメ (3 箇所) の嵌合をはずし、リヤドインサイドハンドルベゼル RH を取りはずす。
2. 保護テープを貼り付ける。
3. ツメ (5 箇所) 及びクリップ (2 箇所) の嵌合をはずし、リヤドアパワーウィンドウスイッチ RH を取りはずす。
4. 保護テープを貼り付ける。
5. ツメ (2 箇所) の嵌合を矢印方向にはずし、ドアポケットカバー RH を取りはずす。

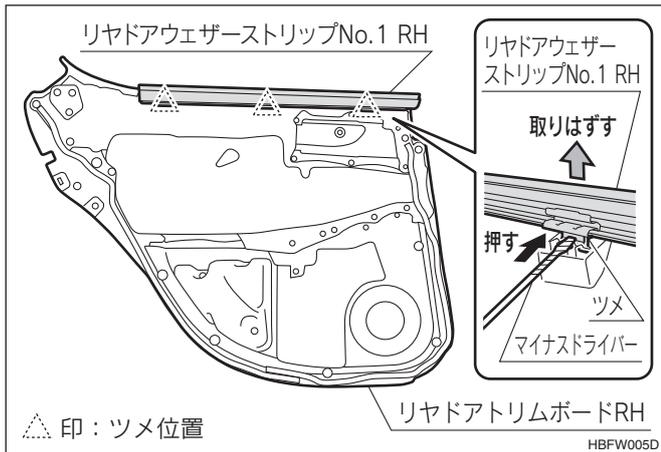


6. 保護テープを貼り付ける。
7. スクリュー (4 箇所) を取りはずす。
8. クリップ (8 箇所) を取りはずす。  
リヤドアトリムボード RH

### ⚠ 注意

ガイドを破損しないよう注意してください。

9. リヤドアトリムボード RH 裏から、ドアロックケーブル (白)、ドアオープナーケーブル (緑) を取りはずす。
10. リヤドアウェザーストリップ No.2 RH を取りはずす。

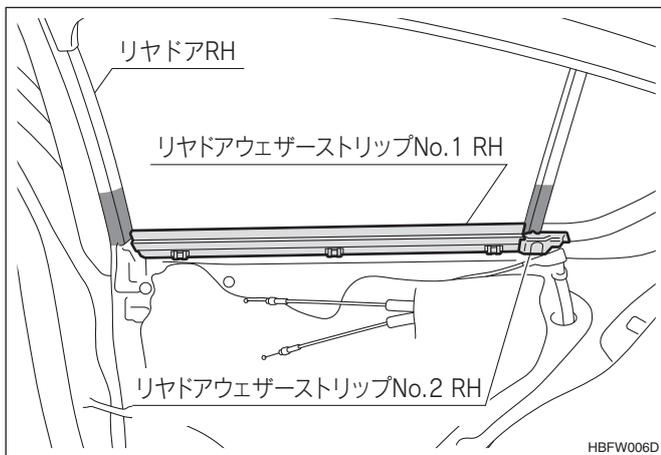


## リヤドアトリムボードの復元手順 (図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。)

### ⚠ 注意

下記復元手順に従って復元を行わないと、リヤドアトリムボードRHを破損する恐れがあります。充分注意して作業を行ってください。

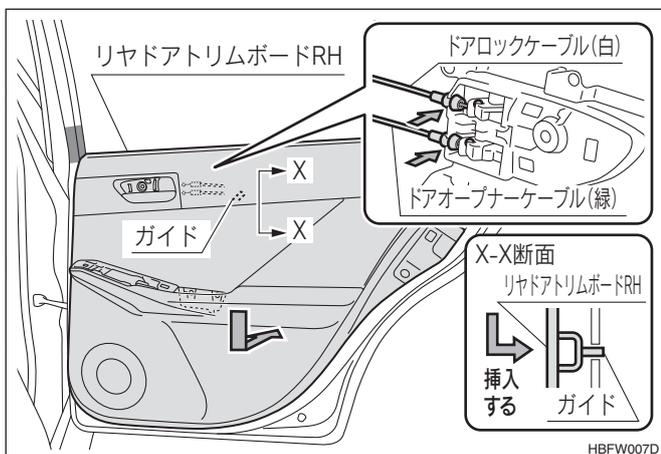
1. 保護テープを巻いたマイナスドライバーを使用して、ツメ (3箇所) の嵌合をはずし、リヤドアウェザーストリップNo.1 RHを取りはずす。



2. リヤドアウェザーストリップNo.1 及びNo.2を取り付ける。

### 👉 アドバイス

向きを間違えないよう取り付けてください。

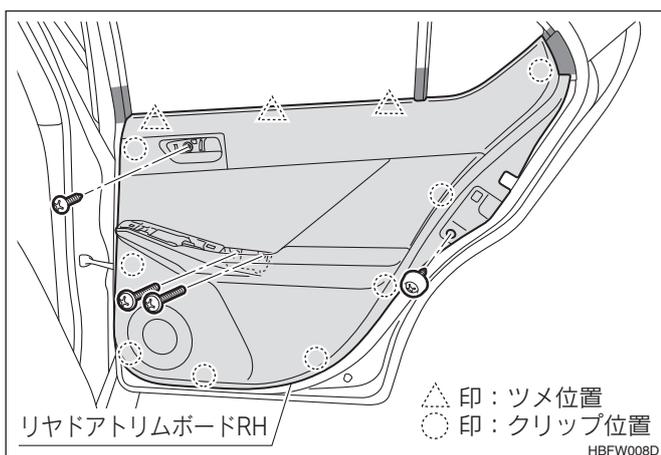


3. リヤドアトリムボードRH裏に、ドアロックケーブル (白)、ドアオープナーケーブル (緑) を取り付けます。

4. リヤドアトリムボードRH裏面のガイドをボデー面の挿入口に合わせ、矢印方向に挿入する。

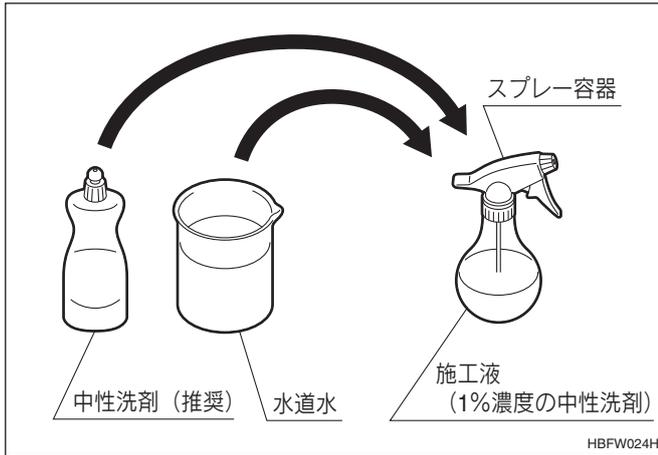
### ⚠ 注意

ガイドをボデー面に押し当てると、リヤドアトリムボードRHの表面が白く変色する恐れがあります。充分注意し、慎重に作業を行ってください。



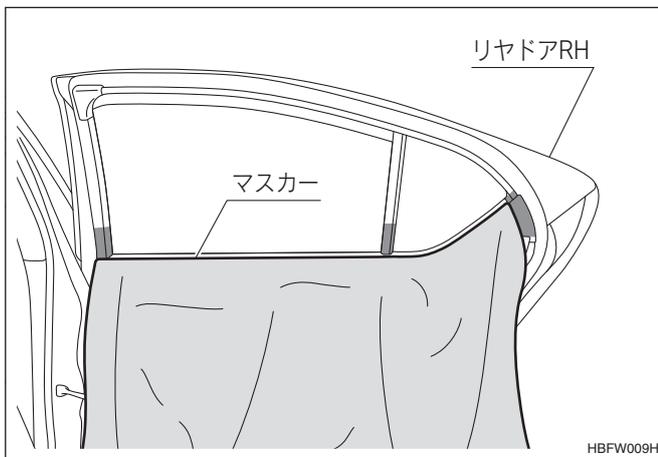
5. ツメ (3箇所) 及びクリップ (8箇所) を嵌合させ、リヤドアトリムボードRHを取り付ける。
6. スクリュー (4本) を取り付けます。
7. ドアポケットカバーRH、リヤドアパワーウィンドウスイッチRH及びリヤドアインサイドハンドルベゼルRHを取り付ける。

## 取付作業



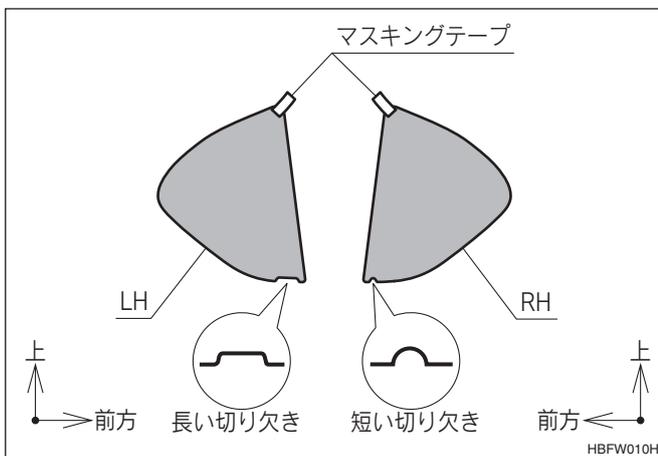
### 施工液の準備

中性洗剤（推奨）を水道水で1%濃度に薄める。



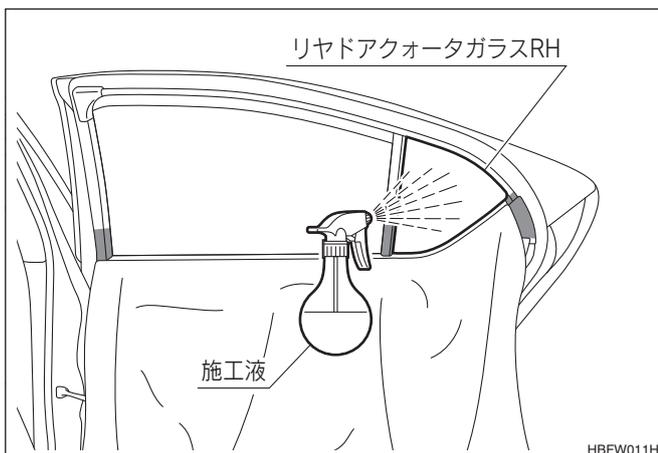
### リアドアウインドウフィルムの貼り付け前の準備 (図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。)

施工液がリアドアRH内部に垂れるのを防ぐ為に、マスキナー等でリアドアRHを覆う。



### リアドアウインドウフィルム（小）の取り付け (図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。)

1. リアドアウインドウフィルム（小）のLHとRHを区別し、短い切り欠きがあるRHを用意する。
2. フィルム角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。

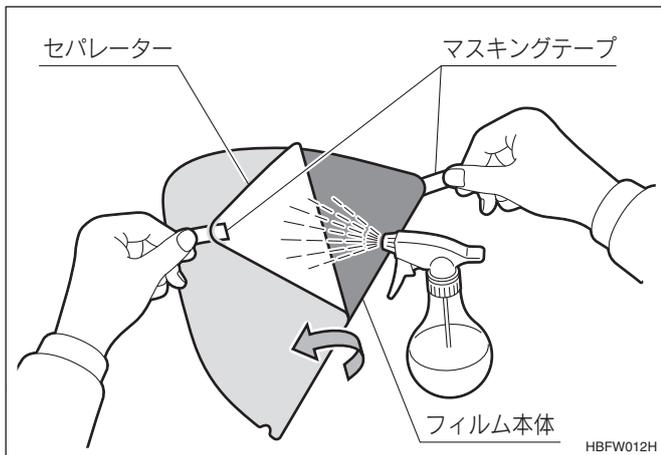


3. リアドアクォータガラスRH室内側全面に施工液をたっぷりスプレーし、ガラスを清掃する。

#### 👉 アドバイス

フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

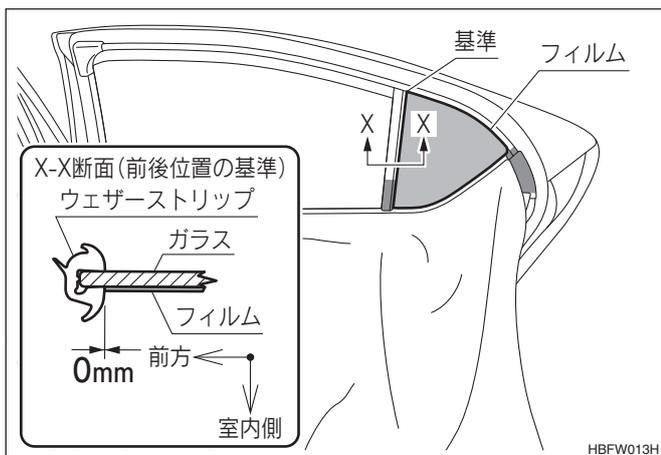
4. リアドアクォータガラスRH室内側全面に、再度施工液をスプレーする。



5. マスキングテープを持って、粘着面にたっぷり施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

**アドバイス**

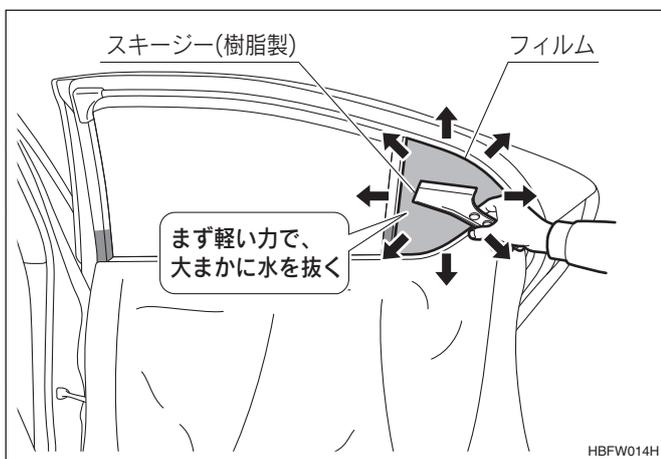
- (1) 本体側とセパレーター側を間違えないようにしてください。
- (2) リヤドアクォータガラス RH 及びフィルム粘着面に、施工液をたっぷりスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。



6. 前後の基準となるフィルム前端部（左図 X-X 断面）とウェザーストリップ端部との間隔が開かないように、フィルム前端をウェザーストリップ前方に接するまでスライドさせ、フィルム下端部をウェザーストリップ内側に押し込んで取り付ける。

**アドバイス**

- (1) 位置決めの際は、左図 X-X 断面を参考に貼り付けてください。
- (2) 切り欠きがある方が、フィルムの下端になります。
- (3) フィルム上端にて、ウェザーストリップ端部との隙間が生じることがありますが、気泡や水抜きのための隙間ですので、問題ありません。



7. フィルム表面とスキージー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

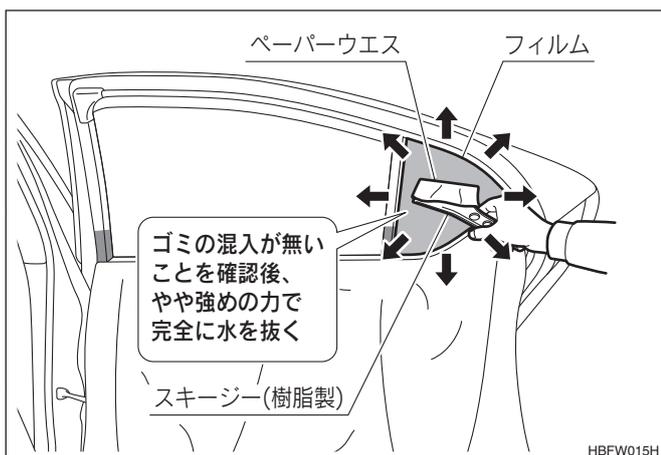
**アドバイス**

施工液のスプレーにより、スキージーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。

8. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）で軽くフィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

**アドバイス**

最初はフィルムがずれないように、力を加減してください。



9. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。

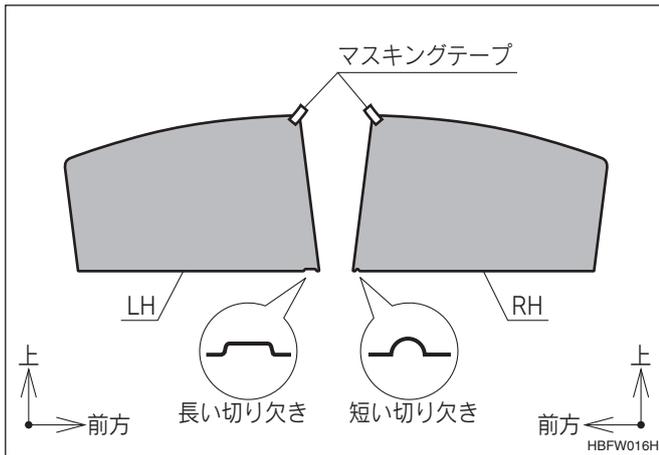
10. スキージー（樹脂製）に吸水性のペーパーウエスを巻く。

11. フィルムの中心部から放射線状に、スキージー（樹脂製）でやや強めにフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

**アドバイス**

フィルムがずれないように、作業をしてください。

12. 同様に、リヤドアウトウインドフィルム（小） LH を取り付ける。



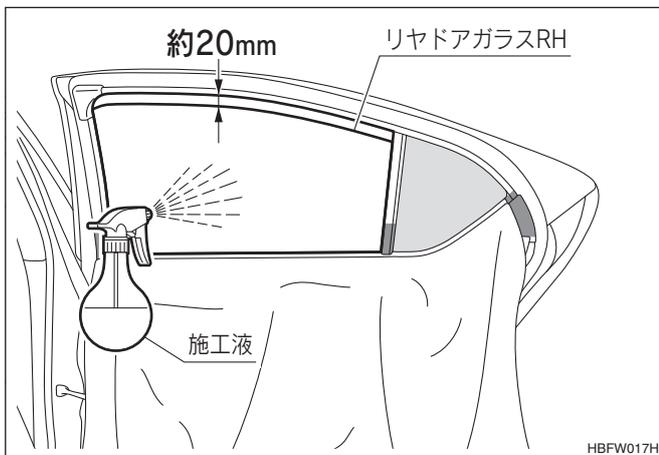
リヤドアウインドウフィルム (大) の取り付け  
(図はRH側を示す。LH側も同様に作業してください。)

1. リヤドアウインドウフィルム (大) のLH用とRH用を区別する。

**👉 アドバイス**

短い切り欠きがあるRH用から取り付けます。

2. フィルム角部の表裏両面にマスキングテープを貼り付ける。



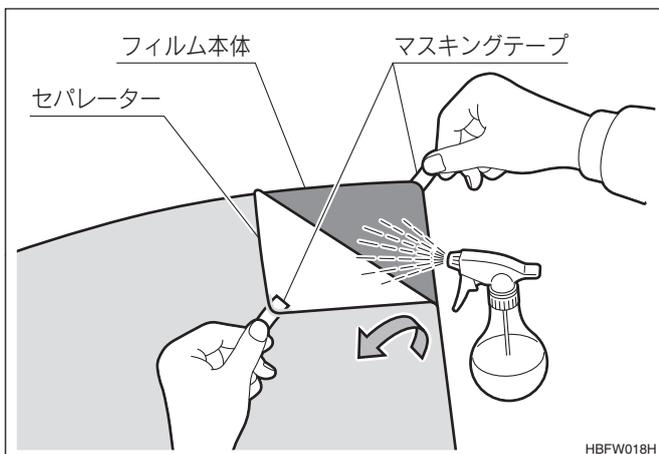
3. リヤドアガラスRHが約20mm下がっていることを確認する。

4. リヤドアガラスRH表裏両面に施工液をたっぷりスプレーし、ガラスを清掃する。

**👉 アドバイス**

フィルム内側への混入を防ぐ為に、ゴミやホコリを完全に除去してください。

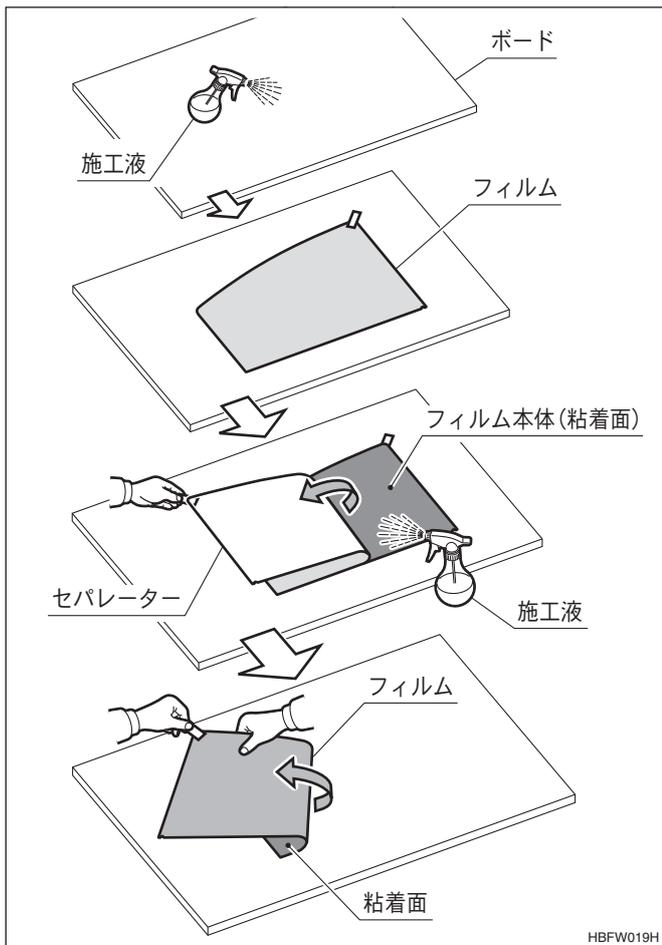
5. リヤドアガラスRH室内側全面に、再度施工液をスプレーする。



6. マスキングテープを持って、粘着面にたっぷり施工液をスプレーしながら、フィルムからセパレーターを剥がす。

**👉 アドバイス**

- (1) 本体側とセパレーター側を間違えないようにしてください。
- (2) リヤドアガラスRH及びフィルム粘着面に、施工液をたっぷりスプレーするとフィルムがすべりやすくなり、位置決めが容易になります。

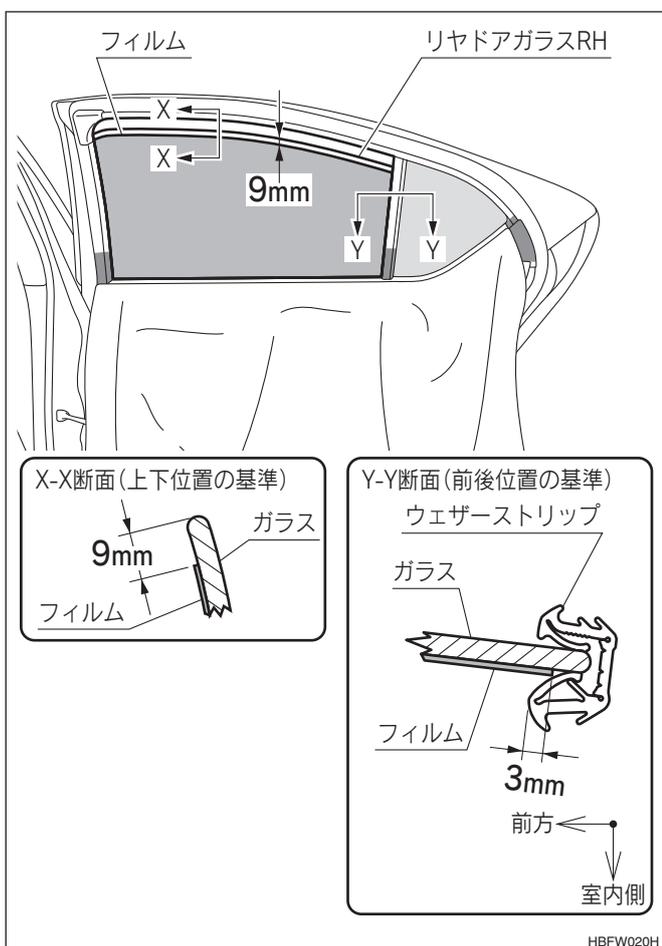


HBFW019H

### 👉 アドバイス

以下の手順でフィルムとセパレーターを剥がすと作業を容易に行うことができます。

- (1) ホワイトボードまたは机やガラス等、汚れる恐れのない平面をリヤドア近くに準備します。
- (2) 平面部をきれいに清掃後、施工液をスプレーし、リヤドアウインドウフィルム (大) RH の本体側を平面部に貼り付けます。
- (3) マスキングテープを持って、粘着面にたっぷり施工液をスプレーしながら、貼り付けてあるフィルムからセパレーターを全て剥がします。
- (4) リヤドアウインドウフィルム (大) RH の上端側の一方を片手で持ち、フィルム本体を平面から剥がしながら粘着面が自分の体と反対側になるように、両手で上端両サイドを持ちます。
- (5) リヤドアウインドウフィルム (大) RH の粘着面をリヤドアガラス RH に取り付けます。



HBFW020H

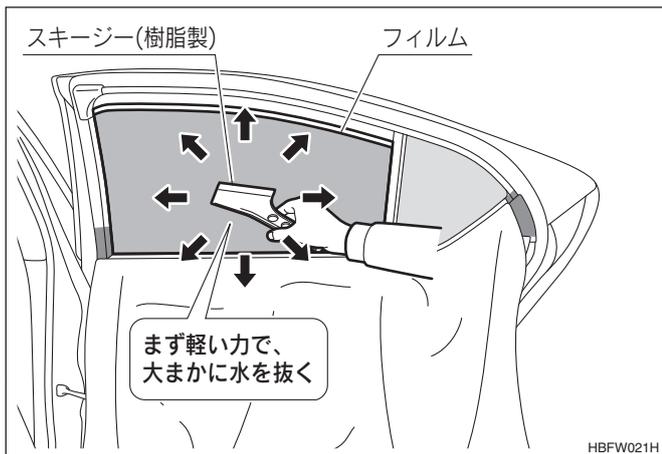
### 👉 アドバイス

あらかじめ、ガラス外側から **9mm** の位置にマスキングテープで位置出しをしておくと、フィルムを容易に貼ることができます。

7. ガラス上端からフィルム上端が均等に **9mm** (左図 X-X 断面) の位置になるように取り付ける。
8. ガラス上端とフィルム上端の間隔を **9mm** に保ったまま、フィルム後端を左図 Y-Y 断面に従い調整する。

### 👉 アドバイス

- (1) 切り欠きがある方が、フィルムの下端になります。
- (2) ガラス以外の部分にフィルム本体が触れないように取り付けてください。



9. フィルム表面とスクリーパー（樹脂製）の両方に施工液をスプレーする。

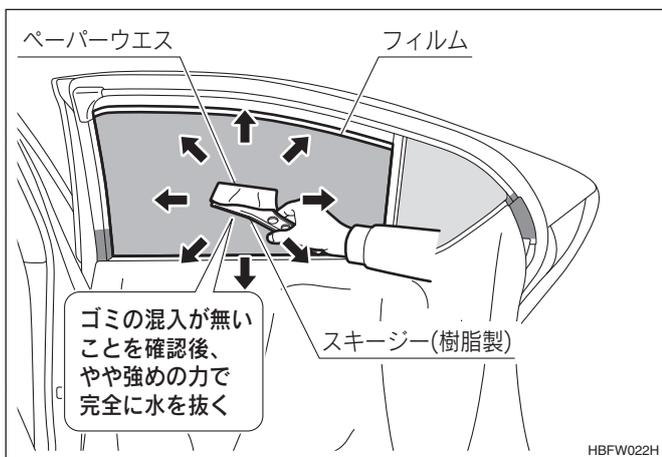
**アドバイス**

施工液のスプレーにより、スクリーパーのすべりが良くなり、フィルムに傷が付きにくくなります。

10. フィルムの中心部から放射線状に、スクリーパー（樹脂製）で軽くフィルムとガラス間の水及び気泡を外に押し出す。

**アドバイス**

最初はフィルムがずれないように、力を加減してください。



11. ゴミ・ホコリの混入が無いことを確認する。万一混入していた場合は、その部分まで施工液を吹き付けながらフィルムをゆっくり剥がし、異物を除去した後に再度取り付ける。

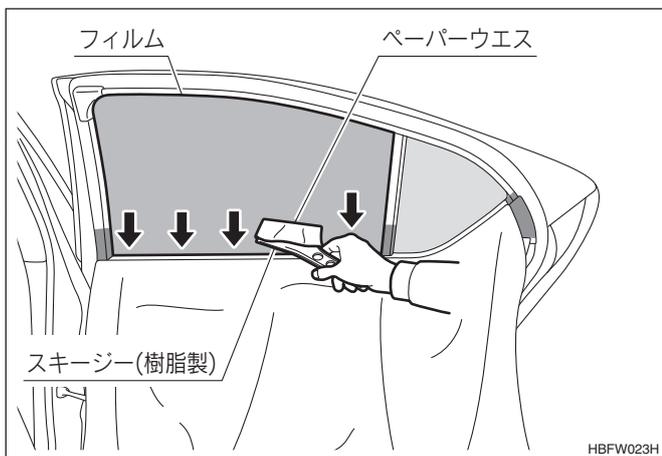
12. フィルム上端がガラス上端から9mm空いていること、フィルム後端がウエザーストリップに3mm入り込んでいることを確認する。

13. スクリーパー（樹脂製）に吸水性のペーパーウエスを巻く。

14. フィルムの中心部から放射線状に、スクリーパー（樹脂製）でやや強めにフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

**アドバイス**

フィルムがずれないように、作業をしてください。



15. バッテリーの（-）側ケーブルを取り付ける。

16. リヤドアガラス RH を一番上まで上げる。

17. バッテリーの（-）側ケーブルをはずす。

18. 吸水性のウエス等を巻いたスクリーパー（樹脂製）でフィルムとガラス間の水分を外に押し出し、完全に取り除く。

19. 作業終了後、リヤドア RH に貼り付けたマスキングテープを取りはずす。

20. 同様に、リヤドアウィンドウフィルム（大） LH を取り付ける。

## 復元作業

- ・ 取りはずした車両部品を下記の点に注意し、前述の手順に従って、元通りに復元してください。
- ・ 付着した施工液をふき取ってください。

車両の損傷は「( なし ) 注意」です。

### ⚠ 注意

復元作業は、車両部品の損傷や、車両ハーネスの噛み込みに充分注意してください。

### 👉 アドバイス

フィルムのズレ防止の為、フィルム貼り付け後 20 分程度は、できるだけドアガラスの昇降を避けてください。

## バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。  
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。  
※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。

## 取り付け完了後の確認

### 取り付けの確認

1. 取り付けに異常がないことを確認してください。
2. 取り付けの際、車両に傷を付けていないことを確認してください。
3. ドアロック、パワーウインドウ（各ドア）が正常に作動することを確認してください。